

事業番号	08 03 14	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	2016信州発信事業費			担当課	部局	観光部	
総合5か年計画	プロジェクト	9-1-1 信州ブランド確立プロジェクト			課・局・室	観光誘客課	
	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興 1選ばれる観光地づくり 2国内外からの誘客・交流の推進			E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出			実施期間	H26 ~	
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 (カ) 観光の振興					

1 事業の概要

目指す姿	ビッグイベントのプレ・本番・アフターに合わせ、他の地域の露出に負けない大規模でインパクトのある情報発信を実施し誘客促進を図る。											
現状 (予算編成時)	○延べ宿泊者数 平成24年:1,829万人(東日本大震災落ち込みからの回復、信州四季旅キャンペーン) 平成25年:1,875万人(信州四季旅キャンペーン) 平成26年:1,790万人(しあわせ信州観光キャンペーン等) 平成27年:1,921万人(しあわせ信州観光キャンペーン等)											
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 実施中		【左記の説明、根拠法令等】 全県的大規模情報発信であり、他県に負けない情報の発信は、長野県として実施する必要がある。									
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28) ○平成28年 延べ宿泊者数及び観光消費額の計画達成											
	② 事業内容 (単位:千円)											
		項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29					
					(当初)	(決算)	(当初)					
		著名人を活用したタイアッププロモーション	委託料	-	0	0	10,000					
		北陸地域・関西圏からの誘客促進	負担金	関西圏における沿線県との連携	2,275	1,195	5,500					
		SNS等映像制作	委託料	インパクトのある映像制作、SNS等での発信	13,695	8,756	0					
		「アルクマ」活用	委託料	長野県PRキャラクター「アルクマ」による観光情報発信	6,600	6,600	10,000					
		大河ドラマ「真田丸」対策	負担金	NHK大河ドラマ「真田丸」を契機とした県内誘客・周遊促進	30,000	30,000	500					
		観光旅行者動向マーケティング支援	委託料	情報発信ターゲットを絞るなどマーケティング支援を実施した	5,140	4,981	5,140					
	信州シルクロード協議会負担金	負担金	信州シルクロード協議会への負担金	290	290	0						
	突発災害対策費用	委託料	災害等突発的な災害に迅速に対応するための費用	10,000	0	0						
			合計	68,000	51,822	31,140						
事業コスト	区分(単位:千円)			成果目標の達成状況								
	予算額	前年度繰越	78,000		項目	H26末	H27末	H28			H29 目標	
		当初予算		68,000				31,140	目標	成果		達成状況
		補正予算	40,000	-4,600								
		合計(A)	118,000	63,400				31,140	延べ宿泊者数	1,790万人		1,921万人
	Aの財源	一般財源	40,000	63,400	31,140	観光消費額(共通基準)	6,571億円	7,410億円	6,971億円	7,320億円	達成	7,180億円
		県債				新幹線停車5駅乗車人員(H24年度比)	-	101万人増	80万人増	96万人増	達成	-
		国庫支出金	78,000			木曽地域宿泊者数(10月~3月)	14万人	-	-	-	-	-
		その他	0	0	0	アルクマプロモーションイベント参加件数	60件	250件	400件	633件	達成	-
	決算額(B)	109,561	51,822									
概算人件費	職員数(人)	3.00	3.00	3.00								
概算事業費(B(A)+C)	252,389	138,964	54,882									
目標に対する成果の状況	北陸新幹線の県内全停車駅の乗車人数は、96万人と目標の80万人を超える成果を達成した。 平成28年の延べ宿泊者数は目標に対して未達成となったが、観光消費額は達成となった。											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 発信内容や規模を精査し、一部経費を平成29年度実施の信州デスクステーションキャンペーンに移行した。引き続きインパクトのある情報発信を展開してくとともに、広域観光の推進やアルクマを活用したプロモーションの展開により、本県への誘客促進の拡大を図る。
--------------------	---